

## ストロンチウム同位体比によるワサビ産地判別の有用性 Usefulness of strontium isotope composition for determining the geographical origin of Japanese horseradish

神谷 貴文<sup>1\*</sup>; 中村 佐知子<sup>1</sup>; 伊藤 彰<sup>1</sup>; 大山 康一<sup>1</sup>; 西島 卓也<sup>2</sup>; SHIN Kicheol<sup>3</sup>  
KAMITANI, Takafumi<sup>1\*</sup>; NAKAMURA, Sachiko<sup>1</sup>; ITO, Akira<sup>1</sup>; OHYAMA, Koichi<sup>1</sup>; NISHIJIMA, Takuya<sup>2</sup>;  
SHIN, Kicheol<sup>3</sup>

<sup>1</sup> 静岡県環境衛生科学研究所, <sup>2</sup> 静岡県農林技術研究所, <sup>3</sup> 総合地球環境学研究所

<sup>1</sup>Shizuoka Institute of Environment and Hygiene, <sup>2</sup>Shizuoka Prefectural Research Institute of Agriculture and Forestry, <sup>3</sup>Research Institute for Humanity and Nature

静岡県の地質は東部の新しい火山岩から西部の古い堆積岩や変成岩まで多岐にわたっており、大気降水物や人為的な影響が少ない河川最上流部の湧水の水質は、各地の地質を反映した元素・同位体組成になると考えられる。このような湧水地で栽培されるワサビを対象として、産地判別におけるストロンチウム同位体比 ( $^{87}\text{Sr}/^{86}\text{Sr}$ ) の有用性を評価した。21地点においてワサビ 59 サンプルおよびその生育地である湧水 58 サンプルを採取し、微量元素・ $^{87}\text{Sr}/^{86}\text{Sr}$  を測定した。その結果、 $^{87}\text{Sr}/^{86}\text{Sr}$  は地質の特徴によって異なる値となり、同地点のワサビと湧水の値がほぼ一致することを確認した。バナジウムなどの微量元素と  $^{87}\text{Sr}/^{86}\text{Sr}$  の値を組み合わせることで比較することにより、地質の異なるワサビ産地を特定できることが明らかになった。

キーワード: 地理的起源, ワサビ, ストロンチウム同位体比, 微量元素, 静岡県

Keywords: geographical origin, Japanese horseradish (*Wasabia japonica*), strontium isotopic composition, trace element, Shizuoka prefecture